

「わとくのサンルームから」

兵庫県立和田山特別支援学校
校長 野口 照正

ようやく梅雨が明けました！本日から夏休みです。この1学期に大きな事故もなく、無事に学校生活を終えられたことが、何よりも良かったです。

1 終業式での1コマから

私はこの3月まで高校に勤めていたので、終業式後に全校生徒に向けて行う生活指導などの講話は、生徒指導に係る「先生」が行うものという固定観念がありました。

ところが、本校では複数の生徒会役員が前に出て、スライドを使いながら、気を付けるべき夏休みの過ごし方を、立派に説明していました。本校の終業式や全校集会では、小学部、中学部、高等部の児童や生徒が一堂に会します。従って、話す内容の表現やスピードなどでは、ひと工夫が求められます。

前に出た生徒会役員のみなさんによる説明はとても説得力があり、その場にいた児童や生徒たちは、集中して話を聞いていました。このような場面を目の当たりにして、私はとても感心しました。今回の取り組みを通して、生徒たちは自分にできることがさらに増えて、新たな自信を持てました。また下級生のみなさんは、先輩の「カッコいい」姿に、憧れを持ったことでしょう。このような取り組みが、児童や生徒間の連帯感を育んだり、それぞれのこころの成長につながりますね。

生徒会役員のみなさん、2学期以降の活躍も期待しています！



2 終業式での講話を掲載します。どうぞ高覧いただき、家庭でのご指導の一助になれば、幸いです。

「わとく」のみなさん、おはようございます。

4月から始まった「長〜い」1学期も、今日で終わります。

1学期は、新しいクラス、新しい友達、新しい先生と、周りの様子が大きく変わりましたから、慣れるまでとても疲れたと思います。そのような中で、日々のお勉強に加えて、運動会、遠足、委員会活動、夏祭りなど、たくさんの行事がありました。

みなさんは先生のお話をよく聞いて、それぞれの行事にしっかりと取り組みました。とても良かったです。

さて、明日から「うれしい」夏休みが始まります。みなさんは、どのように過ごしますか。夏休みを迎えるにあたり、私からみなさんに4つのお話をします。

1つ目は、コロナウィルスのことです。この7月になり、一部の学校ではコロナウィルスがまた広がり、近くの学校で学級閉鎖などがありました。やはり、まだ心配ですね。外から帰ったら、手洗いとうがいは、忘れずにしましょう。

2つ目は、4年ぶりにおうちの近くで、夏祭りや花火大会など、楽しい行事があると思います。海や山に出かける人もいるでしょうか。外に出かけるときは、おうちの方とよくお話をして、ケガなどをしないよう、気を付けてください。

3つ目は、自分のスマホやタブレットを持っている人は、毎日使う時間と場所を決めましょう。テレビを見ることも同じです。そして、寝る前に画面を見ると、ぐっすりと眠れなくなります。目も悪くなりますから、使い方には気を付けましょう。

最後に、夏休みの宿題は後回しにせず、毎日時間を決めて、明日から少しずつ進めましょうね。

次にみなさんと会えるのは、9月1日です。元気な姿で、みなさんに会えることを楽しみにしています。それでは、素敵な夏休みを過ごしてください。

